



# シャローム shalom

No.150

2019.春号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



## 平成最後の看護師たちを迎えて

いわい かずみ

病院看護部 部長 岩井 和美

平成最後の新しい春が訪れました。今年も20名の新人看護師を迎えることができ、臨床の場で緊張と期待に胸をふくらませています。未来の“デキる”看護師を目指す新人看護師たち。その成長をサポートするため、看護部では新人研修を年間にわたり計画しています。短期間で一人前へと育てる必要があり、指導担当の看護師に負担が集中しないよう病棟全体で新人の見守り成長を支援していきたいと思っています。新人指導は先輩の成長記録とも言えます。新人教育において、私が最も大切だと思うのは、「自分の看護がどのような意味をもったのか、同僚や指導者からフィードバック(語り合う)を受けて理解すること」です。つまり承認です。指導者も同様です。病棟全体で関心をもってOJTの中で大事に育てて欲しいです。

病棟師長も新人も、看護部長である私も皆同じ看護師です。何も恐れることはありません。どの役職の看護師も、新人研修で学んだ事柄を繰り返し繰り返し考えながら看護の意味を理解して、自身の力としてつなげてきたと思います。個々が成長することで、病棟全体のレベルアップにもつながり、病院組織の貴重な人材となります。

2019年度の看護部目標、“互いに関心をもってフィードバックを通じて一緒に成長しましょう”をテーマに取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

2019年度医療団標語聖句 (イザヤ書43章19節より)

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」

# News

## 新任ドクター紹介

ごじょう  
小児科 五條 あい



2019年4月より小児科で勤務させていただく事となりました五條と申します。前職の千船病院小児科では10年間新生児科と一般小児科を並行して診療してまいりました。赤ちゃんが産まれたその瞬間から、どんどん成長していく姿を見守らせていただける小児科医という仕事にとても魅力を感じております。小児科医は外科の先生方のように手術をして「治す」という事ができないので、基本的にはお子さんが持っている元気になるようとする力・伸びようとする力をうまく発揮できるよう、少し手を添えるのが役目と考えております。病気の事だけではなく、発達面や日常生活の中での困り事など、根本的な解決は難しいかもしれませんが、お子さんの力を発揮できる方法をご家族の皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、「こんな事くらい…」と思わずにご相談いただければと思います。よろしくお願いいたします。

おかもと せいじ  
小児科 岡本 清二



2019年4月16日より日本バプテスト病院小児科に勤務させて頂くことになりました、岡本清二と申します。小児科として4年目であり、まだまだ若輩者で頼りなく感じる面もあると思いますが、地域の皆様が安心して暮らせるよう、小児・周産期新生児医療の発展に寄与すべく精一杯頑張りたいと思います。昨年までは奈良の大和高田市立病院で勤務しておりました。久しぶりの京都ですので、時間を見つけて周辺散策ができればと思います。

たまい はなこ  
産婦人科 玉井 華子



2019年4月に入職しました、玉井華子です。以前は尼崎医療生協病院で勤務していました。

産婦人科は、思春期・妊娠・更年期・老年期の、女性のライフステージの様々な悩みを聞ける場所です。私自身子育てしながら診療にあたっていると、女性の生活は、産婦人科の関わる妊娠出産と育児、月経、更年期等が大きく影響しているように思います。妊娠した方にとって、出産はゴールではなく新しい生活のスタートです。スムーズなスタートがされるよう支援できるのも、その後をサポートできるのも、産婦人科ではないかと思えます。微力ではありますが、産婦人科のかけつけとして、快適な生活を送れるサポートができればと思っています。宜しくお願いいたします。

やながわ ますみ  
産婦人科 柳川 真澄



2019年4月より勤務しています、柳川真澄と申します。

私は平成25年に大学を卒業後、山口県の病院で2年間の初期研修を行い、4年間神戸の病院で勤務しておりました。

このたびご縁をいただき、日本バプテスト病院に勤務することになりました。

婦人科疾患の症状は、なかなか訴えたいことがうまく伝えられなかったり、話すこと自体に抵抗がある方もいらっしゃるかと思います。診療中は、気軽に話せるような雰囲気作りを心がけていくつもりですのでぜひご相談ください。また産科では安全なお産のお手伝いをできるように尽力いたします。

まだまだ若輩者ではありますが、微力ながら皆様に貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。

# Hospice

ホスピスボランティア リレーコラム

vol.4

はらだ みえこ

ホスピスボランティア 原田 美栄子

## 「忘れがたい時間」

7年前に夫を看取ったのがきっかけで、ホスピスボランティアに参加させていただくようになりました。患者さんのリクエストに応じて飲み物をサービスしたり、お話相手になったり、お散歩に付き添ったり。5年間の活動を振り返ると、懐かしい面影が目に浮かびます。

手芸がお得意で、お喋りの合間も手を休めなかったAさん。編み物好きな田舎の母を彷彿とさせ、ついお部屋を訪ねる回数が増えました。コーヒーに添えるチョコレートやクッキーを楽しみに待っていたBさん。ケーキの匂いに鼻をクンクンさせていた甘党の夫を思い出しました。コンサートのチケット代を振り込みたいと1階のコンビニまで一緒したCさん。同じミュージシャンのファンと知り、お部屋に戻った後も談義に花を咲かせました。

週1回2~3時間、ほんの束の間のふれあいですが、どれも忘れがたい大切な思い出です。そしてそんな時間を積み重ねたことで、私自身も喪失を乗り越えられたような気がします。これからもささやかながら「ご恩返し」をしていきたいと思えます。

## 薬でつなぐ ちよつといい話

### vol.23 アレルゲン免疫療法について

なら みなみ  
薬剤部 奈良 美波



ダニによる通年性鼻炎やスギ花粉症は主にくしゃみ、鼻水、目のかゆみなど辛いアレルギー症状を伴います。これらの症状に悩んでいる方も多いのではないのでしょうか？最近ではアレルギー治療薬の種類も増え、点鼻薬や点眼薬とともに使用されている方もいらっしゃると思います。ところで皆さんは「アレルゲン免疫療法」をご存知でしょうか？これはスギ花粉症やダニによる通年性鼻炎の治療法のひとつです。この治療法はアレルギーの原因であるアレルゲンを少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、症状を和らげ根本的な体質改善が期待できます。使用してすぐに効果が出るお薬ではなく、治療期間は年単位となりますが、唯一完治が期待できる治療薬です。検査でダニやスギに感作ありと診断された方のみ治療を受けることができます。2018年に小児(5歳以上)適応が拡大し、現在、スギとダニの舌下免疫療法を当院の小児科外来にて行っています。成人の方の治療は要相談となりますが、興味を持たれた方は是非当院までご相談下さい。



## 健康・栄養

### 第33回 ～食こぼれ話～ 花粉症と食物の意外な関係

かねこ みどり

管理栄養士 金子 緑



今や国民病とも言われている「花粉症」。意外と知られていませんが、食物アレルギーと関係があることがわかっています。花粉症の方には花粉のアレルゲンに対する (IgE) 抗体があります。花粉症の方の中には生野菜や果物のアレルゲンが花粉のアレルゲンと構造が似ているので反応してしまい、口腔内でアレルギーが起こることがあります。これを交差反応と言います。花粉症との合併比率はシラカンバやオオバヤシャブシの花粉症患者で20%、スギ花粉症患者で7~17%とされています。

その症状は唇、口、のどにかゆみやのどのイガイガするような症状のみで、全身に症状があらわれることはありません。

また、これらのアレルゲンは熱に弱く、加熱によって分解されますので、加熱したものであれば、症状が出ないことがあります。

#### ☆主な花粉と交差反応性が証明されている果物・野菜など

花粉	果物・野菜など
カバノキ科 (シラカンバ、ハンノキ、オオバヤシャブシ)	バラ科 (リンゴ、西洋なし、サクランボ、モモ、スモモ、アンズ、アーモンド)、セリ科 (セロリ、ニンジン)、ナス科 (ジャガイモ)、マメ科 (大豆、ピーナッツ)、マタタビ科 (キウイフルーツ)、カバノキ (ヘーゼルナッツ)、ウルシ科 (マンゴー、ししとうがらし)
ヒノキ科 (スギ)	ナス科 (トマト)
イネ科 (カモガヤ、オオアワガエリ)	ウリ科 (メロン、スイカ)、ナス科 (トマト、ジャガイモ)、マタタビ科 (キウイフルーツ)、ミカン科 (オレンジ)、マメ科 (ピーナッツ)
キク科 (ヨモギ)	セリ科 (セロリ、ニンジン)、ウルシ科 (マンゴー)、香辛料 (コリアンダー、クミン)
キク科 (ブタクサ)	ウリ科 (メロン、スイカ、カンタロープ、ズッキーニ、きゅうり)、バショウ科 (バナナ)

血液検査が陽性であっても除去の必要性がなく食べられる場合が少なくありませんので、「念のため」「心配だから」と必要以上に除去食物を増やさず、症状が誘発されるものにとどめましょう。心配な場合は医師に相談しましょう。

## 聖書の小道

### 第40回

#### 「伝えたい言葉」

「イエスで自身が彼らの真ん中に立ち、

『あなたがたに平和があるように』と

言われた。」

ルカによる福音書  
24章36節より

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



今年は4月21日にイースターを迎えました。

イースターは主イエスのご復活を喜びお祝いすると共に、わたしたちの命や魂について思いを深める時でもあります。

わたしたちは誰もが自分自身の命を生き、また大切な人たちの命と密接につながって生きています。しかし命には突然のことや予想していなかったことが思いもかけない時に起こります。そのようなわたしたちをイエスはカづけ、平安に生きる道を教えてくださいました。それはイエスが自分を裏切った者たちの前に現れ、彼らの平和を願うことで、「赦し」と「愛」を伝えられたことでした。「ありがとう」や「大好きだよ」といった言葉や存在、その心は、人を恐れや不安から遠ざけ、カづけ、励ましてくれます。

わたしたちの日々が、魂を平安に導き、命を豊かにしてくれる言葉に溢れますように。

#### 標語聖句の書

新年度の医療団のテーマである「変革」への祈りが込められています。

イマヌエルホールとチャペルに標語聖句の書があります。どうぞご覧ください。

#### 行事予定

今年は6月9日(日)にチャペルの礼拝で以下の三日の日を覚えます。

##### ペンテコステ

聖霊が降って教会が生まれたことを祝うキリスト教の三大祝日の一つ。

##### 花の日・子どもの日

花をもつての施設訪問が行われている。子どもの成長を祝う日。

##### 「病院デー」

(日本バプテスト連盟制定日)  
日本バプテスト連盟医療団が覚えられる日。

牧師室からの  
おしらせ

## 催し物予告

### 医療団 チャペルコンサート

日時：2019年5月15日（水）午後3時15分～3時40分

出演：末松よしみつ氏によるヴァイオリンやギターの演奏と唄

会場：日本バプテスト病院3階チャペル

\* 都合により、変更・中止の場合があります。ご了承ください。



## イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

### 寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

### 郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

### お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

## 献金・献品 感謝ご報告 (2018.12.1-2019.2.28) 敬称略

疋田 ひさの 手銭 美代子 岩西 敬一 西南幼稚園  
同志社女子高等学校 西南学院バプテスト教会  
堀江 祥子 日本キリスト教団 京都教区 京都南部地区  
関西地方連合女性会 渡辺 勝 匿名の方1名

## 産学連携

京都芸術デザイン専門学校  
バプテスト老人保健施設インターンシップ研修  
テーマ「社会を知る、仕事を知る」

2019年2月18日～3月8日の期間、京都芸術デザイン専門学校1年生3名がバプテスト老人保健施設のインターンシップに来られました。医療・介護に関わる職員と介護に携わる家族と接し、施設利用者とのふれあいの中で、高齢者を取り巻く社会状況を感じていただきました。そこで体験・体感したことを活かした施設紹介のポスターデザイン制作と老健ギャラリー「フォトバッシュ☆イラスト展」の企画展示を行いました。初めての試みでしたが、充実した15日間になりました。



## お知らせ 学校閉校について

1966年にキリストの愛の行為にならい神と人に仕える看護師を世に送り出すために開校しましたが、感謝のうちに53年の歴史を閉じることとなりました。皆様には温かいご支援やご協力を頂戴し今日まで過ごせたことを感謝いたします。ありがとうございました。

[理事長 校長 北 堅吉]

## 編集 後記

暖冬と言われた冬も終わり、今年は新元号に変わる特別な年。新たな気持ちでスタートする方も多いのではないのでしょうか。新年度、新元号となり、バプテスト病院は皆様のご健康を支えていけるように努力して参ります。

## 日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.150 2019年4月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 北 堅吉 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>  
バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <http://www.jbh.or.jp/shion.html>  
バプテスト居宅介護支援事業所